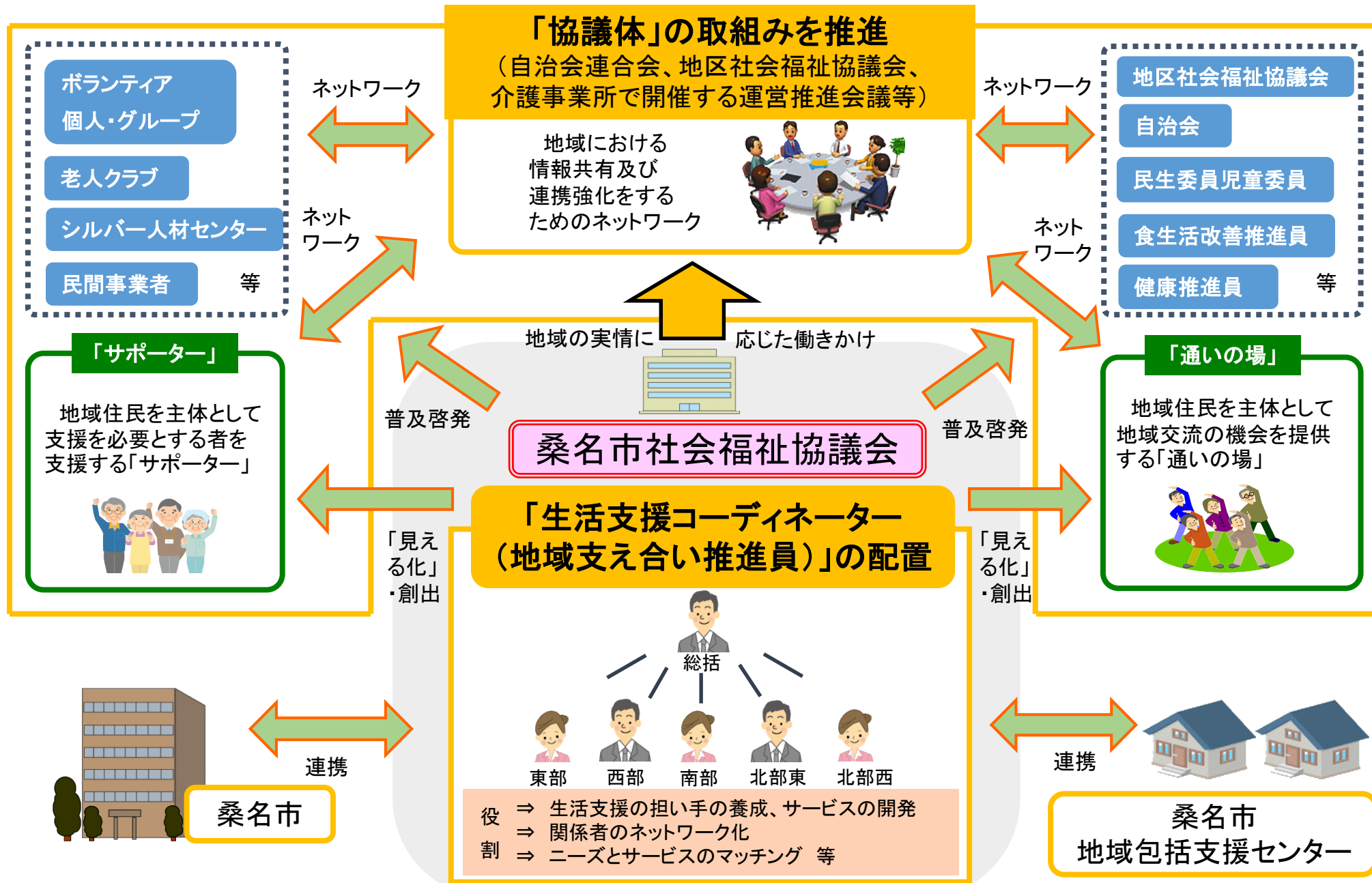


生活支援体制整備に関する 取組について

桑名市の「生活支援体制整備事業」の基本的な方針



生活支援コーディネーターの配置

現状・取組状況

- 平成27年度より、桑名市社会福祉協議会が事業を受託（5年目）
- 桑名市社会福祉協議会に6名の「生活支援コーディネーター」を配置

第1層 1名（統括・全域担当）

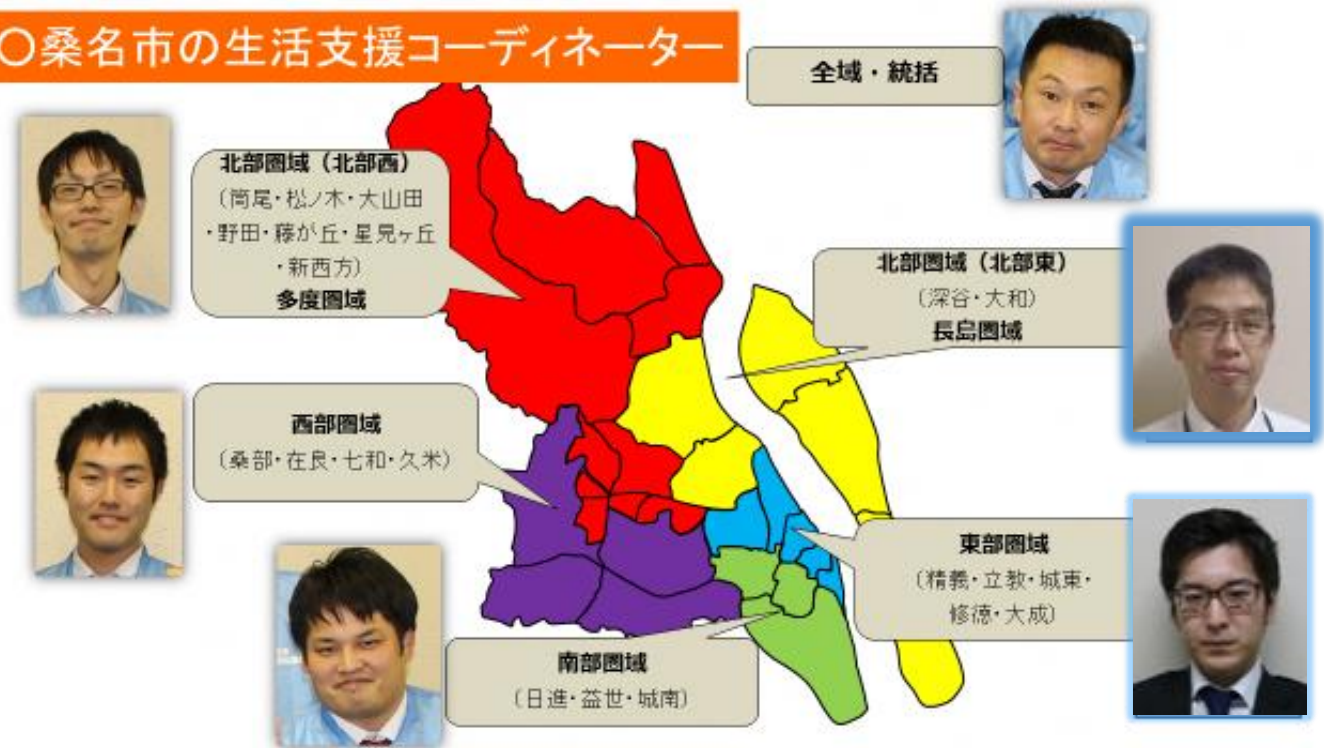
第2層 5名（各圏域担当）

※地域包括支援センター設置圏域ごとに担当を置く

- 主な役割は、

- ①資源開発
- ②関係者のネットワーク化
- ③ニーズと取組のマッチング

○桑名市の生活支援コーディネーター



担い手の養成・サービス開発

現状・取組状況

○「通いの場」の設置をすすめる

- ・地域住民が中心となり、交流や介護予防の拠点となる「通いの場」の設置をすすめています
- ・平成27年度から「通いの場担い手養成講座」を開催
昨年度は、「みんなでつくる！地域の通いの場づくり講座」として開催（参加者：36名）
- ・「通いの場」の数や担い手が増えるように、支援を行っています



平成30年度開催
「みんなでつくる！地域の通いの場づくり講座」のようす

○「生活支援」の取り組みを広げる



平成30年度開催の講座のようす

- ・平成29年度から「生活支援ボランティア講座」を開催
（昨年度参加者：61名）
- ・益世、精義地区では生活支援を行う団体が活動中です

連携・関係者のネットワーク化

現状・取組状況

○他職種・機関との連携

- ・ **地域包括支援センター、市（介護予防支援室、保健医療課など）**
担当コーディネーターが毎月もしくは隔月で連絡会議を行うなど、連携している
- ・ **ケアマネジャーからの問い合わせ**
地域生活応援会議でのアドバイスや昨年のケアマネ交流会の出席などにより、
地域資源やボランティア依頼に関して直接問いあわせいただく機会が増えている

○協議体の設立

- ・ **協議体**
(各地域における生活支援コーディネーターと生活支援等サービス提供主体等が参画し、定期的な情報共有
及び連携強化の場として、中核となるネットワーク)
- ・ 1 層（市全域）…本協議会（地域包括ケアシステム推進協議会）
- ・ 2 層 …3地区において設立

「協議体」の設置(2層)

現状・取組状況

◎ 益世地区

(益世支え愛の会)



- ・ 定例会 (月1回)
随時活動
- ・ 【安心・見守り】…救急キット等
【お手伝い・お助け】…生活支援
【ふれあい・交流】…サロン

◎ 精義地区

(精義おたすけ隊)



- ・ 定例会 (月1回)
随時活動
- ・ 生活支援ボランティア
認知症声掛け訓練

◎ 城南地区

(城南まちづくり協議会)



- ・ 役員会、専門部会 (月1回)
随時活動
- ・ 【地域のつながり】…ラジオ体操
【子ども】…子ども食堂等
【災害】…声かけマップ
【拠点施設の有効活用】…サロン等

地域住民に対する普及啓発

現状・取組状況

○地域住民や団体への普及・啓発

- 生活支援コーディネーターが、地域の関係者と連携しながら、地域や各団体の会議や行事などに出向き、様々な機会において、「生活支援コーディネーター」の存在や活動、これからの「地域支え合い体制づくり」などについて、説明をし、理解いただき、実際の取り組みに結びつくよう働きかけています。



すこやかたどクラブ(多度地区老人会)での講演のようす

年度	27年度	28年度	29年度	30年度
件数	35件	53件	60件	67件